

GTFS-RTを用いた 統合型リアルタイム情報の提供

について紹介します

2024年3月2日
高知大学 次世代地域創造センター
片岡 源宗

公共交通オープンデータ最前線2024

はじめに

継続更新・オープンデータ化と1セット

前提(背景)：高知県庁の方針 (公共交通のデジタル化)

- GTFS静的データ整備が可能な交通は、データ整備が望ましい
- ロケの更新/新規導入時は、GTFS動的データ対応が望ましい

本日の内容 (紹介)

とさでんグループ5社の新ロケサービス (2024年3月5日サービス開始)

- ロケシステムがGTFS-RTに対応
 - GTFS-RTデータのオープンデータ化
 - GTFSデータ対応ウェブ時刻表の導入
 - GTFS-RTデータをGoogleマップに掲載
- 利用者向けサービス

使い分け (機能の整理)

- 観光・ビジネス客、経路検索機能等：Google マップ
- 日常的な利用者：独自サイト

※GTFSデータ = Scheduleデータ + RTデータ (Vehicle Position、Trip Update、Alertの3つ)

GTFSデータ対応ウェブ時刻表

提言

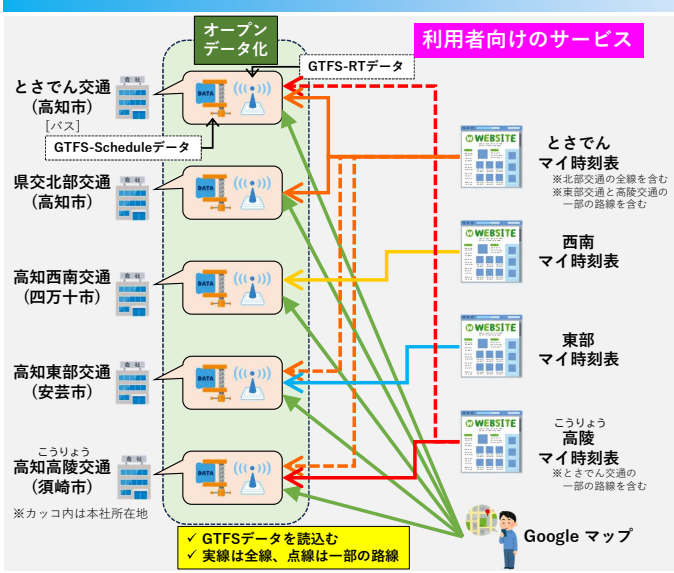
- GTFSデータを読み込み、表示すること
- 複数のGTFSデータを取り扱えること (統合)
- 表示は、全線/一部の路線を選択可能

既存のGTFSデータ対応ウェブ時刻表に統合機能を追加依頼

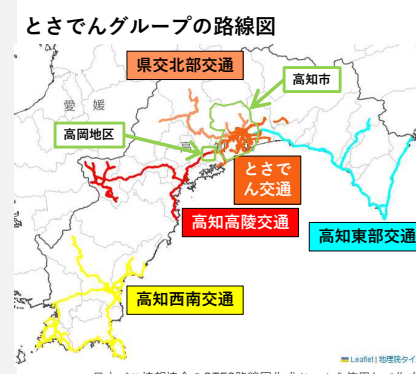
GTFSデータ対応ウェブ時刻表のサービス名：マイ時刻表

- 今回は4つのエリア
- とさでんマイ時刻表
 - 西南マイ時刻表
 - 東部マイ時刻表
 - 高陵マイ時刻表

新サービスの概要



- GTFSのメリット
- One Source Multi Use



重複等を考慮し、表示路線を決定

- ✓ 高知市内は、とさでん交通・県交北部交通・東部交通が重複
- ✓ 土佐市高岡地区は、とさでん交通と高陵交通が重複

画面の表示例

5 具体的な画面はサービス開始後にご覧ください

乗降モード

- 乗車と降車バス停を選択
- 区間の登録可能(簡単呼び出し)



サイネージモード

- 乗車バス停を選択
- 表示標柱等の選択も可能



・高知東部交通の実証実験サイト (<https://tobukoutsu.busplus.jp/>) の画面です
 本サービスとは一部の表示方法が異なります
 ・今回の取組では統合機能を追加開発依頼

そのほか

- 名寄せ、ICカードデータ連携に対応
- 利用者目線 (運行者や交通モードに縛られない)
 - エリア、×組織 . . . 路線移管
 - 市町村営バス、コミュニティバスも技術的には対応可能
 - バスに限らず、路面電車、フェリーなども技術的には対応可能
- GTFS規格の採用により、システム組合せの柔軟性を確保

質問がありそうなこと

- マイ時刻表は、とさでんグループが所有するサービスではありません
 - 既存のサービスに、今回統合機能を追加

- マイ時刻表へ興味のある方
 - とさでん交通ではなく、開発・サービス提供企業へ
 - 「モビナビ高知」で検索 ⇒ リンクのページ



3月5日のサービス開始後、
 実際にご覧ください